

時事問題

取引所外ニ於ケル定期取引(二)

戸田 海市

一 取引所外ノ定期取引ノ意義

世人カ取引所外ニ於ケル定期取引ト云フ場合ハ通例ニ様ノ意味ヲ有スル。第一ハ賣買契約タルノ實效ヲ見ヘサル賭博的ノ行爲ヲ指スノテアル。例ヘハ取引當事者カ互ニ賣買直段ノ差額ヲ授受スルコトヲ以テ満足シ、現金現物ノ授受ヲ強要セサルヘキコトヲ豫シメ明示又ハ默示ニ合意シテ取引スルカ如キ場合、即チ眞ニ賣リ又ハ買フニアラスシテ單ニ賣買ノ外形ヲ裝ヒ、以テ賣買ノ場合トハ異レル目的ヲ有スル行爲ヲ爲スカ如キ場合ヲ指スノテアル。賣買契約ノ期限ノ到達シタ場合ニ當事者カ合意ニ由リテ預ケ合ヲ爲シ、即チ契約ヲ更新シテ其期限ヲ延長スルコトハ、特ニ取引所ニ於ケル取引ニ在テハ取引所令第九條ノ禁止スル所テアルガ、一般ニハ適法ノ取引タルヲ妨ケナイ。然ルニ當事者カ豫シメ明示又ハ默示ノ合意ニ由リ受渡ヲ行ハスシテ當然互ニ預ケ合ヲ行フコトトシ、之ヲ行フニ付テ市場ノ狀況ニ由リ互ニ日歩ヲ授受スルコトヲ目的トスル取引ノ如キモ、

前述ノ差額取引ト同シク賣買ノ形ヲ裝フ所ノ賭博的行爲テアル。第二ハ賣買ノ實質ヲ具フル取引テアルガ、取引所ニ於テノミ行フコトヲ許ルサレタル定期取引ト同一又ハ類似ノ性質ヲ有スル取引ヲ指スノテアル。前者ハ資力ノ薄弱ナル者ノ間ニ於テ小規模ニ行ハルル場合カ多ク、從ツテ之カ爲メニ社會ノ風紀ヲ亂タシ、貧困ト罪惡トノ原因ヲ爲スノ弊ハ多大テアルガ、之ニ由ツテ一般市場ノ相場ヲ攪亂スルカ如キ經濟上ノ影響ヲ生スル力ハ比較的二弱イ。然ルニ後者ハ通例仲間即チ同業者ノ間ノ先物取引又ハ延取引ノ如キ名義ヲ以テ有力ナル商人ノ間ニ行ハルル場合カ多イ、此種ノ取引モ社會ノ風紀上ニ惡影響ヲ及ホスコトカナイトハ云ハレナイガ、其ノ主タル惡影響ハ相場ニ不當ノ動搖ヲ生セシムルコトテアル。最モ近來有力ナル商人ニシテ賭博的取引ヲ行フノミナラス、取引所ノ市場ニ於テモ監督ノ不充分ナルニ乘シテ直取引ノ如キ名稱ノ下ニ空取引ヲ行フ場合カアリ。從ツテ空取引必シモ經濟上ノ影響少ナシト云フヲ得ストノ説モアル。予輩ハ此說ノ當否ヲ判斷スルノ材料ヲ有タナイガ、大體ニ於テ上ニ述ヘタ所ノ影響ノ差異ハ事實ニ合スルト信スル。

取引所外ニ於ケル定期取引及之ニ類似セル取引ニ關スル取引所法ノ規定ヲ見ルニ、改正前ノ舊規定ハ其第二十五條ニ「取引所外ニ於テ取引所ノ定期取引ト同一又ハ類似ノ方法ヲ以テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス」トアツタガ、大正三年ノ改正ニ方ツテ其第二十六條ノ二ニ「取引所ニ依ラスシテ定期取引ト同一又ハ類似ノ取引ヲ目的トスル市場ヲ開キ又ハ其市場ニ於テ取引ヲ爲スコトヲ得ス」ト改メタ。今マ此ノ新舊兩條ヲ比較スルニ舊法ニ由レハ取引所外ニ於テ定期取引ノ性質ヲ有

スル取引ヲ行フコトヲ妨ケナイガ、只ク現ニ取引所カ實行シツツアル所ト同一又ハ類似ノ方法ニ
 由テ之ヲ行フコトヲ禁シタモノノ如ク見ヘル。當時此條文ハ獨リ一般ノ取引所外ノ定期類似ノ取
 引ニ對シテノミナラス、仲買人ノ吞行爲ニ對シテモ適用セラレ得ルモノノ如ク解釋セラルルヲ常
 トシタガ、此ノ如キ解釋ニ付テハ議論ノ餘地カ多大ニ存在シタ。然ルニ改正取引所法ハ仲買人ノ吞
 行爲ニ付テハ特ニ第二十五條ニ於テ「仲買人ハ委托ヲ受ケタル取引所ノ定期取引ニ付キ取引所ニ
 於テ其ノ買付賣付又ハ受渡ヲ爲サスシテ之ヲ爲シタルト同一又ハ類似ノ計算ヲ以テ委托者ニ對シ
 其ノ決済ヲ行フコトヲ得ス」ト規定シ、一般ノ取引所外ノ定期取引ニ對シテハ前述ノ如ク第二十
 六條ノ二ヲ以テ新ナル規定ヲ設ケタノデアアル。本條ハ舊規定第二十五條ト異ツテ性質上定期取引
 ニ屬スル取引及之ニ類似スル取引ニ對シテ汎ク適用セラレ、其方法カ取引所ノ行ヒツツアルモノ
 ト同シキヤ否ヤヲ問ハナイガ、一面ニハ定期取引又ハ類似ノ取引ヲ目的トスル市場ヲ開キ、又ハ
 其市場ニ於テ取引ヲ行フ場合ニ限リテ禁止スルコトトシタ。故ニ本條ヲ解スルニハ定期取引ノ性
 質如何ト市場ヲ開クトハ何ヲ意味スルヤトヲ明カニセネハナラス。

世人ハ往々定期取引ト云ヘハ契約締結ノ手續即チ立會方法トシテ競賣買ヲ採リ、又契約ヲ終了ス
 ル方法トシテハ轉賣買戻ヲ實行シ得ル取引テアルト信スルヤウテアル。然ルニ此ノ如キ取引ノ手
 續方法ハ實際ニハ現時ノ株式會社組織ノ取引所ノ特色トスル所ノ強制擔保制度ノ下ニ於テ實行シ
 得ル所テアツテ、取引者各自ノ信用ヲ基本トシテ取引ヲ行フコトヲ必要トスル所ノ會員組織ノ取
 引所ニ於テ眞面目ノ取引ヲ爲サントスレハ、事實上此方法ヲ行フヲ得ナイ。加之新取引所令ハ第

十二條ニ於テ「直取引延取引及會員組織ノ取引所ノ定期取引ハ競賣買ノ方法ニ依ルヲ得ス、轉賣買戻ハ競賣買ノ方法ニ依ル定期取引ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得」ト規定シタ故、法律上ニモ會員組織ノ取引所ハ上述ノ手續方法以外ノ方法ニ由テ定期取引ヲ行フコトヲ必要トスルニ至ツタ。是ニ由テ見ルモ定期取引ナルモノハ論者ノ云フカ如ク競賣買及轉賣買戻ノ方法ヲ行フコトヲ以テ其特色トスルモノテナイ。此外取引所法令ハ取引所ニ於テ行フ所ノ定期取引ニ對シ其手續方法ニ關シテ種々ノ制限ヲ加ヘテ居ルガ、世間ニハ此ノ如キ法定ノ手續方法ニ從フ所ノ取引ヲ以テ定期取引ナリト論スル者モアル。此論カ事理ヲ顛倒スルモノナルコトハ多言ヲ要シナイ。取引所法令ノ定ムル手續方法ハ定期取引其物テハナク、定期取引カ採リ得ル所ノ種々ノ手續方法ノ中ノ一タルニ止マル。故ニ吾人ハ先ツ定期取引ノ本質ヲ明ニセネハナラヌ。

定期取引ハ代替性ヲ有スル所ノ目的物ニ關スル賣買テアリ、又其當事者双方ノ履行カ即時ニ行ハレスシテ双方ニ同一ナル期限ヲ有スルモノテアルコトハ説明ヲ要シナイガ、併シ甲ト乙トノ間ニ於テ或期限ヲ有スル取引ヲ行フタ場合ニ、其取引カ定期取引ノ性質ヲ有スルヤ、將タ延取引ト云フヘキヤヲ決定スルコトハ出來ナイ。定期取引ヲ行フト云ヘハ單ニ期限付キノ取引ヲ行フト云フニ止マラス、更ニ同種ノ取引ヲ行フ者カ多數ニ存在シテ、各當事者ニ對シ取引ノ期限カ整一ニ定マレルコトヲ意味スル。併シ汎ク世間ヲ探索スレハ偶然同一ノ期限ヲ有スル同種ノ取引カ多數ニ存在スルカモ知レヌガ、此ノ如キ場合ニハ常ニ其各個ノ取引ヲ定期取引ナリト云フヲ得ナイ。定期取引ト云ヘハ必ラスヤ同種ノ取引ヲ爲サントスル所ノ多數者カ一ノ市場ヲ組織シ、其市場ニ於

テ之ヲ行フコトヲ必要トスルハ同時ニ、苟クモ市場ヲ設ケテ多數者ノ競争ノ行ハレ得ル状態ノ下ニ取引ヲ行フ上ハ、其結果トシテ單ニ一個ノ賣買カ成立スルニ過キサル場合ト雖モ、其取引ヲ以テ定期取引ナリト斷定シ得ル。故ニ定期取引ノ意義ヲ明ニセントスレハ市場トハ何ソヤノ問題ヲ解決セネハナラス。或ハ前掲取引所法ノ規定ニ於テ定期取引ヲ目的トスル市場ヲ開クコトヲ禁止シテアルガ、這ハ法律カ定期取引ヲ行フニハ市場ヲ開イテ行フ場合ト然ラサル場合トノアルコトヲ認メクノテアル。若シモ定期取引ナルモノカ當然市場ニ於テ成立スル取引テアルナラハ、取引所外ノ定期取引ヲ禁セントスル取引所法ハ單ニ取引所外ニ於テ定期取引ヲ行フヲ得スト規定スレハ足ル筈テアルトノ論カ起ルカモ知レヌ。併シ乍ラ市場ノ組織ヲ離レテ個々單獨ニ行ハレタル取引ハ單ニ期限付キ取引テアツテ定期取引ト云フヲ得サルハ上述ノ如クテアル。取引所法ノ規定ハ取引所外ニ定期取引ヲ行フコトヲ禁スルノミナラス、自カラ之ヲ行ハサルモ他人ヲシテ之ヲ行ハシムル目的ヲ以テ市場ヲ開イタ場合ヲモ禁止セントスルノテアル。後ニ論スル如ク一ノ市場ヲ開クコトト其市場ニ於テ取引スルコトトハ必シモ同一人ニ由テ行ハレルモノテナク、從ツテ取引所外ノ定期取引ヲ有効ニ禁セントスレハ、其目的ノ爲メニ市場ヲ開クコトヲモ別ニ禁止セテハナラヌ。

市場ト云フ詞ハ種々ノ意味ニ用ヒラレル。例ヘハ世界ノ生絲市場トカ、一國ノ金融市場トカ、又ハ一建物内ニ開カレタル青物市場魚市場トカ云フカ如キ其例テアルガ、何レノ場合ニ於テモ同種ノ取引ヲ爲サントスル多數者ノ間ニ競争カ行ハレ、從ツテ其間ニ成立シタル價格ハ所謂競争價

格テアルコトヲ要件トスル。只タ一商店カ其商品ヲ賣ルニ糶賣ノ方法ヲ採リ、又ハ一官廳カ工事ノ請負ヤ不用品拂下ニ付テ競争入札ノ方法ヲ探ルト云フカ如ク、需用者又ハ供給者ノ一方ノミニ競争カ行ハレテ其相手方ノ側ニ競争ノ行ハレナイ場合ニハ、市場カ成立シタト云ハレナイ。市場ト云ヘハ必ラスヤ同種目的物ニ付テ需用者側ニモ供給者側ニモ多數者カ存在シ、何レノ側ニモ競争ノ行ハルル場合ニ限ラレル。併シ法律ニ於テ市場ト云フトキハ、汎ク世間ニ多數ノ需用者ヤ供給者カ存在シテ其間ニ自然ニ競争カ行ハルル一般ノ状態ト云フカ如ク汎キ意義ヲ有スルモノテナク、其多數ノ需用者、供給者、又ハ其双方カ一團ノ組織體トナレル場合ニ限ラルコトガ明カテアル。

取引上競争關係ニ立ツ所ノ多數者ヲ一團ニ組織スルト云フコトハ、彼ノ一團又ハ一地方ノ同業者カ其事業ニ關シテ種々ノ共同利益ヲ圖ルカ爲メニ同業組合ヲ組織スルカ如キ場合ヲ指スノテナク、特ニ其多數者ノ間ニ於テ取引上ノ競争ヲ有效ニ行ハレシムル爲メノ共同設備ヲ爲シ、多數者カ此共同設備ヲ利用シテ取引スルコトニ由リ一ノ競争的取引團體ヲ組織スルノテアル。世人カ公共ノ道路ヤ電話郵便等ヲ利用シテ取引上ノ競争ヲ爲ス場合ハ特別ノ設備ヲ爲シタトハ云ハレナイ。故ニ此場合ニハ經濟上廣キ意味ニ於テ市場カ存在スルト云フコトヲ得ルモ、特ニ法律上ノ市場カ存在スルトハ云ハレナイ。

同種ノ取引ヲ爲サントスル多數者カ各自ニ競争取引ノ意思ヲ有スルノミナラス、更ニ進ンテ相互ニ競争關係ニ立ツテ取引スルノ合意ヲ爲スモ、尙ホ此競争ヲ確實ナラシムル特別ノ共同方法カ存在

在セテハ法律上市場ハ成立シナイ。賣方ノ各人カ最も高ク賣ラントシテ汎ク相手方ヲ求メ、買方ノ各人カ最も安く買ハントシテ汎ク相手方ヲ求ムルノ結果自然ニ競争カ行ハレルノテアルガ、例ヘハ其中ノ賣方ノ甲カ乙ヲ相手トシテ取引セントスルニ方リ、甲カ乙ヲ以テ最高價ヲ提供スル相手方ナリト信スルトキハ、成ルヘク乙ヲ自己ノ取引ニ獨占セントスル。此場合ニ乙モ汎ク他ノ賣方ヲ探カシテ一層安く買ハント努力スレハ、甲ハ乙ヲ獨占スルヲ得ナイガ、時トシテ乙ハ怠慢又ハ無智ノ爲メ充分ニ競争的努力ヲ爲サシテ甲ノ爲メニ獨占セラルルコトカアル。此ノ如キ場合ニ甲乙間ニ成立セントスル取引カ容易ニ他ノ競争者ニ知ラレ得ル特別ノ共同方法カ存在シナクテハ競争ハ充分ニ行ハレナイ。其ノ最も普通ノ方法ハ甲乙ヲ他ノ競争者ト共ニ一場ニ會合シテ衆人環視ノ下ニ公ケニ取引セシムルコトテアル。只タ後ニ論スル如ク競賣買ノ方法ヲ行ハサル限りハ假令ヘ多數者カ一場ニ會合シテ取引スルモ其間ニ完全ノ競争ハ成立シ得ナイノテアツテ、理想的ノ方法ヲ見出タスコトハ困難テアルガ、兎モ角外部ヨリ多數者ヲ強制シテ競争セシムルノ性質ヲ有スル何等カノ共同方法カ特別ニ設ケラレナクテハ、從令ヘ其多數者ノ間ニ競争取引ヲ爲スノ合意カ存在シテモ、事實上烏合ノ衆ト撰フ所ナキ結果トナルヘク、從ツテ特ニ法律上ノ市場カ成立シタト云ハレナイ。是レ法律上ノ市場ノ成立スル爲メニハ多數者ノ間ニ競争取引ヲ爲ス意趣ノ存在スルコトヲ必要トスルノミナラス、其多數者ノ各自ノ行爲ヲ離レテ共同ノ特別設備ノ存在スルコトヲ必要トスル所以テアル。

市場成立ノ要件タル特別ノ共同設備ハ、取引ニ關係スル多數者ノ間ノ競争ヲ有效ナラシムル性質

ノモノタルヲ必要トスルカ、其設備ハ第一ニ之ヲ利用スル所ノ多數者カ自カラ共同シテ之ヲ設ケルコトヲ必要トシナイ。第二者カ有償又ハ無償ニ之ヲ供給スルコトヲ妨ケナイ。都市カ日用品市場ヲ成立セシムル爲メ特別ノ建物ヲ設ケ、又ハ其公園道路ノ一部ヲ臨時ニ區劃シテ之ヲ市場敷地トシ、多數ノ日用品商人ヲシテ其内ニ店舗ヲ開カシムルカ如キハ通例外國ニ見ル所テアリ、又我國ノ取引所ノ市場ノ如キハ營利法人タル取引所カ之ヲ設立管理スルノテアル。第二ニ其共同設備ノ内容ニ至テハ之ヲ利用シテ取引スル所ノ目的物ノ性質ニ由テ同一テナイ。取引ノ目的物カ普通ノ現物テアル場合ニハ、其各個ノ目的物ハ向種類ニ屬スルトハ云へ、完全ナル代替性ヲ有セス、從ツテ需用者ハ各個ノ目的物ヲ検査シテ其價格ヲ比較セネハナラヌ。此ノ如キ取引ノ爲メニハ多數ノ供給者カ其供給物ヲ一場ニ持チ寄り、需用者ニ對シテ之ヲ開示セネハナラヌ。故ニ現物取引ノ市場ノ成立ニハ多數者ノ供給物ヲ一場ニ集メテ多數需用者ヲ會合セシメ、又各供給者ハ自カラ會合スルカ又ハ共同ノ代理者ヲ出場セシメルノテアル。然ルニ代替物ヲ目的トスル取引ニ在テハ、個々ノ目的物ヲ検査スルノ必要カナク、通例此種ノ目的物ヲ供給セントスル者ハ現ニ自カラ之ヲ所有セス、時トシテハ未タ世ニ發生セサル目的物ヲ取引スルコトモアル。此種ノ取引ニ於テ取引上ノ競争ヲ成立セシムルニ必要ナル特別ノ設備ハ、取引ニ關係スル各需用者供給者ノ取引ニ對スル意見ノ交換ト通知トヲ簡便迅速ニ行ハシムルノ性質ヲ有スルコトヲ必要トスル。此ノ如キ意見ノ交換通知ハ取引關係者カ一場ニ會合スレハ最モ簡便ニ行ハレ得ル故、此種ノ市場ノ特別設備トシテモ其會合ニ必要ノ場所ヲ設備スルコトヲ通例トスル。併シ乍ラ取引ノ性質ト取引關係者ノ人

數トニ因テハ必シモ一場ニ會合セストモ、共同ノ使者ヤ仲立人ヤ其他ノ意思媒介ノ方法ヲ設ケテ相當ニ能ク相互ノ意思交通ノ目的ヲ達シ得ル。

論者或ハ市場ノ觀念ニハ多數者カ相當ニ狭キ一區域内ニ現實ニ會合スルコトヲ必要トスト主張スルガ、這ハ普通ノ現物取引ヲ目的トスル市場ノ觀念ヲ強テ一般ニ適用セントスルモノテアル。個々ノ取引目的物ヲ比較検査スルコトヲ必要トセサル代替物ノ取引ニ付テ多數者カ一場ニ會合スルハ、其多數者ノ各自カ成ルヘク汎ク他ノ關係者ノ意見ヲ窺ヒ知ルニ便利ナ爲メテアルガ、此種ノ取引ノ爲メニ多數者カ會合スル場合ト雖モ、其立會方法ニ付キ競賣買ニ由ラスシテ相對賣買ノ方法ヲ採リ、而モ取引ノ爲メニ會合スル者カ多人數ニ上ルトキハ、會合セル各取引者カ總テノ他ノ取引者ノ取引ニ關スル態度意向ヲ窺ヒ知ルコトカ殆ント不能テアル。此ノ如キ場合ニハ市場仲立人カ發生シテ相互ノ間ニ意見ノ媒介ヲ爲ス例モ外國ノ市場ニハ往々ニ見ル所テアルガ、此ノ如キ機關ニ由ルモ到底完全ナル競争ハ行ハレ難ク、從ツテ市場ニ行ハレントスル一々ノ取引ニ付キ總テノ臨場者カ豫シメ之ヲ知ルコトカ出來ス、又同一物ニ付キ同時ニ區々ノ相場ノ市場ニ成立スルコトヲ防クヲ得ナイノテアル。之ト同時ニ取引ノ性質ト取引參加者ノ人數トニ由テハ、總テノ取引者カ自カラ一場ニ會合セストモ、共同ノ使者ヤ仲立人ヤ其他ノ意思交通ノ方法ヲ設ケテ相當ニ能ク各自ノ意見ノ交通ヲ行フテ競争的取引ヲ成立セシムルコトモ出來ル。彼ノ取引所市場ニ於テ仲買人ノミカ臨場シテ取引スルハ、賣買ヲ行ハントスル世間ノ多數者カ自カラ一場ニ會合スル代リニ仲買人ナル機關ヲ利用スルノ方法ト見ルコトモ出來ルノテアルガ、更ニ我取引所ニ於テ見ルカ

如ク市場ニ臨メル各仲買人カ相手方ノ爲人ノ如何ヲ問フヲ要セス、單ニ其ノ提供スル相場ノ如何ニ由リ自由ニ之ト取組ヲ爲スコトカ出來ル爲メニ、其立會ニ競賣買ノ方法ヲ探ツテ開市時間ノ一區切りノ内ニ行ルレタル取引ニ付テハ區々ノ相場ノ成立スルコトヲ許ルサス、絶對ニ單一ノ相場ヲ成立セシムル制度ノ行ハルル場合ニ於テモ、今日普通ニ行ハルルカ如ク多數仲買人又ハ其代理人カ一場ニ會合シテ互ニ手ヲ振り聲ヲ發シテ意見ノ交換ヲ爲シ、此立會ヲ監視スル取引所ノ役員カ拍子木ヲ入レル方法ノ代リニ、各仲買人カ自己ノ有スル指直及成行ノ賣注文賣注文ヲ書面又ハ電話ニテ取引所ニ通知シ、取引所ノ役員カ此ノ如ク提出セラレタル注文ヲ突キ合ハセテ賣買ノ成立ト直段トヲ決定シ、之ヲ各仲買人ニ通知スルノ方法ヲ探ツテモ其結果ハ全ク同一トナルノテアルガ、只タ今日ノ如キ方法カ一層簡便ナ爲メニ實行セラレルノテアル。故ニ假リニ取引所法ニ由リ取引所カ市場設備ヲ作ルニ付テハ、其設備ノ一部分トシテ事務所ノ外ニ多數取引者ヲ一場ニ會合セシムル場所ヲ設クルコトヲ以テ、政府カ實際ニ取引所設立ノ認可ヲ與フルニ必要ナリト認メ、又ハ一步ヲ進メテ此事ハ取引所法自身ノ要求スル所テアルトシテモ、取引所市場ヲ別ニシテ一般ニ論スレハ、市場ナルモノノ成立ニハ多數者カ有形的ニ一場ニ會合スルコトヲ要件トスルモノトナイ。

市場ヲ開クニ付テハ豫シメ一定ノ人々カ取引團體ヲ組織シテ取引ヲ行フノ合意ヲ爲ス場合カ多イテアラウ。此ノ如キ合意ノ存在スル場合ニハ、假令ハ取引關係者ノ人数カ少ナク、又其間ノ取引カ左マテ頻繁ニ行ハレストモ、尙ホ市場ノ成立セルコトヲ否認シ難イテアラウガ、一面ニハ市場

ノ設置ニ付テ明示ノ合意カ存在セス、單ニ當事者ノ慣行ニ由リテ自然ニ市場ノ組織セラルル場合モアリ得ル。營利的又ハ非營利的ノ第三者カ市場設備ヲ提供スルニ對シ、多數者カ其使用ノ承認ヲ求ムルカ如キ場合ニモ、其多數者ハ互ニ一ノ取引團體ヲ作ルコトヲ暗黙ニ認メルノテアル。而シテ市場ノ成立ニハ此ノ如ク同種ノ取引ヲ爲サントスル多數ノ賣手、買手又ハ其双方カ一ノ取引團體ヲ組織シテ競争的取引ヲ爲スノ意思ヲ有スルコトヲ必要トスル上ハ、之ヲ組織スル各人ハ正當ニ市場ニ入り來ルコトヲ得ル所ノ何人ニ對シテモ取引ヲ拒ムヲ得ナイ。固ヨリ其ノ主張セレトスル相場ヲ尋ネラレタ場合ニ之ヲ告グルコトヲ拒ムヲ得ナイ。最モ其取引カ現物市場ノ取引ノ如ク卽座ニ現物現金ノ受渡ヲ以テ終了セサルカ、又ハ期限付キノ取引ニ於テハ我株式會社組織ノ取引所ノ定期取引ノ如ク強制擔保制度カ存在セサル場合、卽チ會員組織ノ取引所ニ於ケル取引ノ如ク各取引者カ互ニ自己ノ全責任ヲ以テ相手方ニ信用ヲ與ヘサルヲ得サル場合ニ於テハ、各自カ取引相手方ヲ取捨選擇スルノ自由ヲ有タネハナラヌ。只タ此場合ニモ或相手方ト取引ヲ行ハントスルニ方リ、其取引ニ關スル事實就中其取引ノ目的物ト其數量ト相場トヲ秘密ニスルコトヲ許ルサレナイ。他ノ市場利用者ノ要求カアレハ之ヲ示スノ責任カアル。若シ之ヲ秘密ニスルコトカ出來ルナラハ到底市場ニ於ケル競争ハ成立スルヲ得ナイ。又各組織員カ互ニ此責任ヲ負フノ意思カナカツタナラハ、競争的取引ヲ行フノ一團體ヲ組織スルノ意思カアルト云ハレナイ。

吾人ハ市場取引ト云ヘハ通例公開公示ノ取引又ハ秘密ヲ許ルサレサルノ取引ヲ聯想スルノテアツテ、實際ニ設備ノ完全ナル市場ニ於テハ各組織員ノ要求ナクトモ市場ニ行ハレタル一切ノ取引ニ關スル重要ノ事實ヲ公示スルノ方法カ設ケラレテアルコトヲ常トシ、又公ケノ認可ヲ要スル市場

ニ在テハ或程度マテ此ノ如キ公示ノ方法ヲ設クルコトヲ命セラルルヲ常トスルハ是レカ爲メデア
ル。我國ニ於テ普通ニ青物市場ト稱セラルルモノヲ見ルニ、同種業ヲ營ム所ノ多數者カ同一ノ場
所ニ集合シテ店舗ヲ開キ、互ニ競争ノ態度ヲ採ツテ取引ヲ行フコトハ、恰モ外國ノ公設日用品市場
ニ於テ大ナル建築物又ハ特ニ區劃セラレタル廣場ノ中ニ多數ノ日用品商人カ店舗ヲ開イテ取引ス
ルト異ナラヌヤウテアル。只タ我國ノ青物又ハ魚市場ト稱セラルルモノニ在テハ一個所ニ集合セ
ル各商人カ互ニ其取引ニ關スル事實ヲ他ノ同業者ヤ公衆ニ開示スルノ責任ヲ負ハナイカラ、法律
上彼等ハ一ノ競争ノ取引團體ヲ作ルノ意思ヲ有スルト云フヲ得ナイノテアル。固ヨリ彼等モ同業
組合ヲ組織シテ各自ノ取引ニ關スル事實ヲ或程度マテ事後ニ於テ組合ニ届出ツルノ義務ヲ負フ場
合ハ少ナクナイテアラウガ、此ノ如キ事後ニ於ケル通知ハ以前ニ行ハレタ取引ニ付テ直接ニ競争
ヲ生セシムル性質ノモノテナイカラ、此場合ニ於テ市場ヲ組織スルノ意思カアルト云ハレナイ。此
點ヨリ見ルモ市場ノ成立ニ付キ多數者カ一場ニ會合スルト云フ外形的ノ状態ニ對シテ妄リニ重キ
ヲ置クノハ誤リテアリ、寧ロ一ノ競争ノ取引團體ヲ組織スル意思ノ存在スルコトニ重キヲ置クノ
必要ナコトカ明白テアル。東京ノ諸所ニ於ケル古着屋町古本屋町、京都ノ五條坂ニ於ケル陶器屋町
ノ如キモノカ法律上ノ市場ト云フヲ得サル所以モ亦同シ理由ヨリ説明シ得ル。而シテ多數者カ市
場ニ於テ取引ヲ行フ場合ニハ、獨リ其間ニ競争ノ取引ノ成立ヲ助クル特別ノ共通設備ヲ要スルノ
ミナラス、其取引ノ履行ニ付テモ共同ノ清算方法ヲ設クルコトヲ便利トスルノテアルガ、併シ履
行ニ關シテ共同設備ヲ有スルコトハ市場成立ノ要件テナイ。此事ハ日用品市場ノ有様ヲ見テモ明
カテアル。

之ヲ要スルニ法律上一般ニ市場ノ成立スルカ爲メニハ第一ニ同種ノ取引ヲ行ハントスル多數者ノ間ニ一ノ競争的取引團體ヲ作ツテ取引ヲ行フ意思ノ存スルコトヲ必要トスルガ、多數者ノ各自カ互ニ競争的地位ニ立ツテ取引スルコトヲ認メルト云フ上ハ、假令ハ各自進ンテ需用供給ニ關スル意思ヲ凡テノ他ノ者ニ對シテ表明スルノ責任ヲ負フマテニ至ラストモ少クトモ其意思ヲ互ニ秘密ニセサルノ責任ヲ負フノ意思カナクテハナラス。第二ニ其多數者カ取引ヲ行フニ付テ單ニ各自任意ニ競争的努力ヲ爲スヲ以テ足レリトセス、更ニ其間ノ競争ヲ有効ナラシムル爲メノ共同設備ノ存在スルコトヲ要スル。此共同設備ハ多數者ノ間ノ競争ヲ有効ナラシムル目的ヲ有スルモノテアル以上ハ、如何ナル場合ニモ需用供給ニ關スル各自ノ意思ヲ成ルヘク汎ク他ノ者ニ簡便ニ知ラシメテ競争的取引ノ成立ヲ助クルノ作用ヲ爲スモノタルヲ要シ、從ツテ其多數者ノ中ノ一部ノ者ノ間ニ行ハレントスル取引ニ關シ此共同設備ニ由テ得ラレタル智識ハ、之ヲ他ノ者ニ對シテ秘密ニスヘキモノテアツテハナラヌコトハ勿論テアルガ、更ニ個々ノ取引目的物ヲ比較検査スルコトヲ要スル現物取引ノ場合ニ在テハ、其設備ハ同時ニ此比較検査ヲ有効ナラシムルノ作用ヲ爲スモノタルヲ要シ、從ツテ此場合ノ共同設備ハ多數者ト其取引目的物トヲ一場ニ集合スルノ設備タルコトヲ必要トスルニ反シ、個々ノ取引物ノ比較検査ヲ必要トセサル代替物ノ取引ノ場合ニ在テハ、其共同設備ハ前ニ述ヘタル一般的作用ヲ爲スモノテアレハ足ルノテアル。而シテ定期取引ノ目的トスル市場ノ成立スルカ爲メニハ以上ノ二要件ノ外ニ其取引目的物カ代替性ヲ有スル所ノ商品有價證券又ハ貨幣テアリ、又其取引期限カ延取引ノ如ク各人ノ任意ニ區々ノ決定ヲ爲スモノテナク、凡テノ取引關係者ニ對シテ整一ニ一定スルコトヲ必要トスル。